

学校運営協議会（定時制部会）議事録

校 名	大阪府立西野田工科高等学校
准校長名	高橋 道生

開催日時	令和 8 年 6 月 29 日(月) 18:30～20:00
開催場所	大阪府立西野田工科高等学校 小会議室
出席者（委員） ※敬称略	丹羽 登（関西学院大学教授）、杉本 三六（後援会会長）、 小山 謙一（神戸大学 CC）、平井 佳子（本校 前 SSW）、戸田恵美子 （保護者）
出席者（学校）	高橋 道生（准校長）、島内 健（教頭）、二子石 知恵（主査）、 中路 裕介（首席・生徒支援部長）、川上 裕也（教務部長）、 廣 祐一（進路指導主事）
傍聴者	0 名
協議資料	・令和 8 年度 学校経営計画 ・令和 8 年度 学校の動き

議題等（次第順）
1 准校長あいさつ 2 委員・事務局自己紹介 3 学校運営協議会について 4 学校の様子（報告） 【教 務】生徒の出席状況はおおむね良好。 【生徒支援】5月に須磨シーワールドへの校外学習を実施。6月に避難訓練を実施し、 福島消防署の協力により消防車の機材等の見学も行った。 部活動では、陸上部の生徒（円盤投げ）が 8 月の全国大会に出場決定。 【進 路】学校経営計画において、「卒業時の進路未決定者 0 人」を最大の重点課 題として掲げている。全教職員で手分けをし、職場見学の引率や進路相 談にあたるなど、きめ細かなサポート体制を敷いている。 5 協議（学校経営計画・閉校に向けた動き等について） 6 まとめ
協議内容・承認事項等（意見の概要）
【閉校に向けての動き】 ・令和 8 年度末をもって現在の校地・校舎の活用が終了する。 ・現在の 3 年生（来年度の 4 年生）が、今宮工科高等学校の校舎において 1 年間学ぶ。 校地が変わっても西野田工科高校の教育課程を継続し、本校の学びを保障していく。 ・令和 9 年度は、今宮工科高校に設置される学校運営協議会において、西野田工科高校の 運営についても協議を行う方針が教育庁より示された。 【意見等】 【会長】「生徒数が減り、生徒たちは寂しくないか大丈夫か心配である」 【委員】子どもは、生徒数について、寂しいということは言ったことはない。 【首席】生徒数が減り、寂しさを感じる面もあるが、生徒も教員もメンバーが変わらず、 安心感があり、落ち着いた環境となっている。

【令和8年度 学校経営計画】

准校長より、4本の柱を伸ばし、閉校まで教育活動を推進していく等の説明を行った。

1. 多様性を磨く : 人権意識の向上。
2. キャリア教育 : 未来を切り開く力の育成。
3. チャレンジ精神: 自己肯定感の向上。
4. 支援マインド : 生徒に寄り添った心の居場所づくり。

【今年度の重点課題】

授業改善: ユニバーサルデザインを意識し、ICTや生成AIを積極的に活用して「わかる授業」を追求する。

進路決定: 卒業予定者全員の進路決定(進路未決定者0)をめざす。

【協議会】令和8年度学校経営計画が承認される。

【提言・意見等】

【会長】生徒支援部の不登校生徒の報告に対し、文部科学省が示している不登校の定義について、都道府県ごとで受取り方が異なることがあるので注意するようにとの提言があった。

【会長】障がい特性のある生徒への就労支援として、就労移行支援事業所等の外部機関との連携を強化し、さらに卒業後も見据え障がい者就業・生活支援センター等と「支援の接続」についても、丁寧に行ってほしいとのアドバイスがあった。

【委員】外国籍の生徒への進路支援について、日本語能力試験(N2)合格に向けた指導を継続するとともに、保護者にも在留資格のルールを正しく理解してもらうよう、家庭との連携を深めてほしいとの意見があった。

【その他: 生成AIの活用についての情報交換】

【教頭】本協議会では、音声を録音して生成AIによって議事録を作成し、教職員の業務効率化を図っている。

【准校長】先日、教育庁から生成AIの活用についての方針が示されたことをうけ本校でも、首席による生成AIについての職員研修を実施し、AIの活用を広めているところである。

【委員】大学のキャリアセンターでは、生成AIを使って書類を作る学生がほとんどなので、今年度から学生に対し、就職活動における生成AIの正しい活用方法についての研修を開始した。

【会長】大学では、教員・学生に対し、生成AIの活用を推奨しているため、特に教員側においては、適切にファクトチェックを行うことが求められている。

次回会議日程

日 時	令和8年10月19日(月) 18:30～
場 所	大阪府立西野田工科高等学校 小会議室